

## 1. 略歴

1987年4月	東京大学教養学部文科三類入学
1989年4月	東京大学文学部第一類（哲学専修課程）進学
1992年3月	東京大学文学部第一類（哲学専修課程）卒業
1992年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程入学
1994年3月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻修士課程修了
1994年4月	東京大学大学院人文科学研究科哲学専攻博士課程進学
1996年3月	東京大学大学院人文社会系研究科基礎文化研究専攻哲学専門分野博士課程退学
1996年4月	四国学院大学文学部人文学科 専任講師
1999年4月	四国学院大学文学部 助教授（～2007年3月）
2003年8月	トロント大学哲学部[Department of Philosophy, University of Toronto]訪問教授[Visiting Professor] （～2004年7月）
2007年4月	四国学院大学文学部 准教授
2010年4月	四国学院大学文学部 教授
2014年4月	東京女子大学現代教養学部人文学科哲学専攻 教授（～2019年3月）
2017年4月	東京女子大学比較文化研究所副所長、兼丸山眞男記念比較思想研究センター副所長（～2019年3月）
2019年4月	東京大学大学院人文社会系研究科 准教授

## 2. 主な研究活動

### a 専門分野

哲学、特に近世・近代から現代に至る英語圏の哲学と形而上学

### b 研究課題

近世・近代から現代に至る英語圏の哲学に基盤を置きながら、哲学的なコスモロジー（宇宙論）の可能性を探求している。具体的なテーマとしては、

- (1) 19世紀後半から20世紀前半にかけての北米の哲学者、特にパース、W.ジェイムズ、ホワイトヘッドにおける形而上学についての考察
- (2) D.ルイスやレッシュャーら、現代の哲学者の形而上学についての考察
- (3) 哲学的なコスモロジーについての歴史的研究

を課題としている。

### c 概要と自己評価

先述の具体的なテーマの(1)については、次項の「経験と反復」において、ホワイトヘッドと松永澄夫を手がかりに、近代の形而上学（特にヒューム）への批判を試みる中で、〈経験〉そのものに内在する反復構造を解き明かすとともに、その構造がヒュームらによって見逃されることが〈因果〉という重要な概念の誤解につながっているのかということ論じた。ただ、上記のところまでは記述が進んだものの、ホワイトヘッド並びに松永の考える、既成の因果概念とは異なる〈因果〉の姿をわかりやすく提示するまでには至らなかったことが、今後の課題として見えてきた。

(2)については、次項の「起源を問う思考をめぐって」において、一ノ瀬正樹の考察と照らし合わせながら論じた。ここでは一ノ瀬に特徴的な概念である「因果的超越」という概念の解明に努め、それがD.ルイスらの因果分析を凌ぐものであることを明らかにした。ここまでの記述には納得しているが、これを哲学的なコスモロジーの可能性へ結びつける道はまだ半ばであり、これからの課題としていきたい。

(3)については、次項の「始まりがないことについて」「〈なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか？〉を哲学が問うことの意味について」において簡単に触れたが、哲学的なコスモロジーの可能性を探究するには、歴史的研究が重要であると同時に、現代科学の成果とどのように関連付けられるのかが焦点になることは明らかである。これについても、鋭意、探求を進めていきたい。

### d 主要業績

#### (1) 論文

「始まりがないことについて」、雑誌『ひとおもい 創刊号』、東信堂、2019.8、p.237-277

「経験と反復」、哲学会編『哲学雑誌』第133巻、第806号、2019.10、p.85-105

「起源を問う思考をめぐって」、宮園健吾、大谷弘、乗立雄輝編『因果・動物・所有 ―ノ瀬哲学をめぐる対話』、武蔵野大学出版会、2020.1、p.139-158

「〈なぜ、何もないのではなく、何かがあるのか?〉を哲学が問うことの意味について」、東京大学文学部次世代人文学開発センター研究紀要『文化交流研究』第33号、2020.3、p.1-10

(2) 学会発表

「起源を問う思考をめぐって」、ワークショップ「因果、規範、そして自由」、武蔵野大学有明キャンパス、2018.12.22

### 3. 主な社会活動

(1) 他機関での講義等

非常勤講師、東京女子大学「4年次演習」、2019.4~2020.3

非常勤講師、聖心女子大学「哲学・倫理学特講 X III, X IV」、2018.4~2020.3

非常勤講師、東京大学教養学部「哲学II」、2018.9~2019.3

(2) 学会

哲学会、理事、2019.4~

日本感性工学会、理事、2018.4~

日本ホワイトヘッド・プロセス学会、理事、2019.10~

アメリカ哲学フォーラム、企画・運営委員、2018.4~